



みんなでスポーツを
楽しんだ「運動会」

5月20日、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センターで「2018かのやエンジョイスports」が開催されました。市と体大の連携で初めて実施した同イベントには、16チーム約300人が参加。これに体大生も加わり、足つぼ徒歩競争やチャンバラバトルなど10種のユニークな競技で熱戦が繰り広げられました。今後も体大と地域が一体となった取り組みは続けられます。



光の演出で夜のばら園を楽しむ



5月18日から20日まで、かのやばら園で夜間イベント「バラと光のカーニバル」が開催されました。今年は恒例の花火ショーのほか、約1ha6,000株のバラをライトアップ。夜のバラの美しさを際立たせるための光の演出が行われたほか、ステージショーや大道芸パフォーマンスなどがあり、来園者は思い思いにバラなどを写真に収めていました。

霧島ヶ丘でハーブの祭典を開催



5月19日・20日、霧島ヶ丘公園で「かのやハーブフェスティバル2018」が開催されました。これは、同会場で県内初の「全国ハーブサミット」が行われたことに伴い実施されたイベント。ハーブの専門家によるワークショップ等が開かれたほか、会場ではハーブを使った商品を扱うブースが軒を連ね、多くの人が、その香りや味を楽しんでいました。



ひらちゃん・ぼうちゃん
がお出迎え

5月26日、平房活性化センターで、「ひらぼうほたるの里ほたる祭り」オープニングイベントが開催されました。ホテル鑑賞会のほか、ステージイベントや農産物即売会なども行われました。



自衛隊員が車いすを贈る

5月24日、海上自衛隊鹿屋航空基地の隊員でつくる海曹会が、鹿屋市社会福祉協議会へ車いす3台を贈呈しました。これは同会とその家族が集めたアルミ缶等の収益金で寄贈したものです。



30年続く台湾との友好

5月28日、台湾の龍譚青年会議所の会員らが市役所を訪れました。同会議所は鹿屋青年会議所と姉妹盟約を結び、長年交流を続けています。一行はかのやばら園なども訪れ、親交を深めました。

森林災害の早期復旧のために



5月31日、市内ホテルで、「森林災害協定調印式」が行われました。この協定は、県森林土木協会曾於支部と肝属支部が、大隅4市5町で発生する森林の風倒被害や山地崩壊、土砂流出等の被害状況の情報収集活動をボランティアで実施し、市町や県大隅地域振興局に報告することを決めたもの。今後、災害の早期復旧につながるとして期待されます。

専門家から学ぶ防災の教え



5月17日、リナシティかのやで「鹿屋市防災シンポジウム」が開催されました。これは市民の防災意識を高めて災害に強いまちづくりを目指すことを目的に開催されたもので、京都大学の井口正人教授、九州大学の矢野真一郎教授による講演が行われ、集まった約400人は、災害に対する日ごろの備えや災害が発生した場合の対応などを学びました。



会場が笑いに包まれた「泥フラッグ」

5月20日、池園町の田んぼで、「泥りんピックin西俣」が開催されました。地域おこしグループ「西俣盛り上げ隊壮青年部」が行ったイベントを、参加者は泥まみれになりながら楽しんでいました。



「アカバラ」の等身大レプリカを寄贈

5月29日、みなと食堂で「アカバラ」のレプリカが鹿屋市漁協に贈呈されました。これは手芸作家の河原多美子さんが1年かけて制作したもので、同食堂の待合室に展示されています。



継続的な活動で地域振興に貢献

5月18日、「第59回全国土地改良功労者表彰」を受賞した輝北町土地改良区の有田浩二さん(団体表彰)、笠野原土地改良区の道免勇さん(個人表彰)が市役所を訪問し、受賞の喜びを報告しました。

水泳の全国大会
大会新で優勝



5月15日、「第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」に出場したメルヘンスポーツ鹿屋の西小野皓大さん(鹿屋東中3年)、川村妃奈乃さん(大始良中1年)、西小野泰志さん(寿小6年)が、関係者と市役所を訪問しました。大会新記録で優勝した西小野皓大さんは、「夏の大会に向けて良い準備ができた」と次を見据えていました。

霧雨を駆け抜ける
不屈のランナーたち



5月13日、輝北うわば公園で「第30回南日本クロスカントリー大会INきほく」が開催されました。30回目の節目を迎えた今大会では、アテネ五輪・北京五輪に出場した土佐礼子さんをゲストランナーに招待。大会当日は、濃霧と大雨で悪天候に見舞われましたが、約700人の参加者は、起伏に富んだ難コースを駆け抜け、その健脚を競いました。